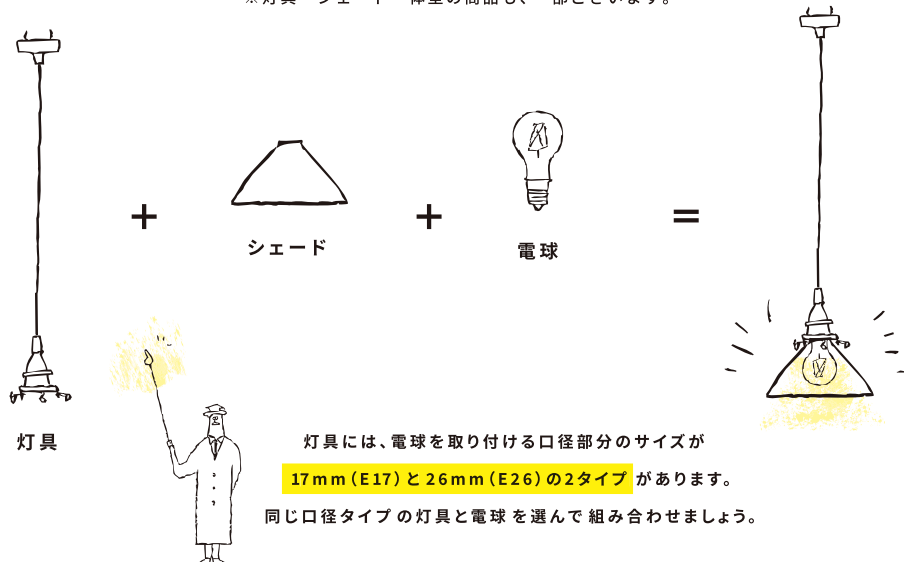


| 照明の選びかた |

Point1 自分好みのデザインを選ぼう

アクセシブの照明は、たくさんの種類の灯具・シェード・電球から
お好きなデザインを組み合わせさせてお使いいただけます。

※灯具・シェード一体型の商品も、一部ございます。

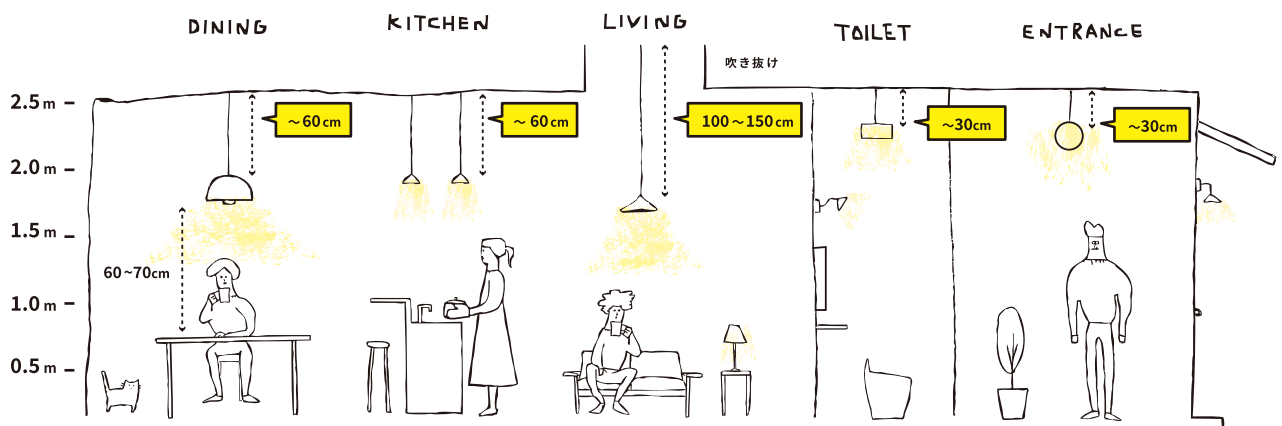


Point2 灯具の長さを選ぼう

天井から吊り下げるペンダントタイプの灯具を使用する場合は
取り付ける空間にちょうどよい長さを選びましょう。

- 玄関・洗面所・お手洗いなど、高い位置から照らしたい…～30cm
- キッチンカウンターやダイニングなど、手元を照らしたい…～60cm
- 天井が高い部屋、低い位置に照明を持てきたい…100cm～150cm

※上記は天井高を一般的な 2.5m とした場合の目安となるコード長の例です。



Point 3 空間に合わせて選ぼう

ENTRANCE

玄関の照明は「圧迫感」を少なく。

玄関は人が出入りする「家の顔」となる場所。ここで気をつけたいのが灯具の長さです。長すぎると圧迫感を感じたり、大きな荷物を運び入れる際に危ない可能性もあるので、玄関には30cmまでの短めor直付けの灯具を付けるのがおすすめです。天井高が2.4～2.5mの場合、床から約2.2m前後の高さに照明を設置するとベストな位置になるでしょう。



KITCHEN

キッチンカウンターの照明は 小振りのシェードを並べて配置。

キッチンは、カウンター上に複数の照明を並べて設置するのがおすすめです。手元を明るく照らしてくれる効果はもちろん、リズミカルに並ぶあかりは空間のアクセントとなります。小振りなシェードを 60cm 灯具に組み合わせるとバランス良くおさまりますが、大きめのシェードを組み合わせる場合は、灯具は30cm以内の長さを選ぶとよいでしょう。



DINING

シェードの素材で変化するダイニングのあかり。

ダイニング照明はテーブルの中央、少し低めの位置に吊ります。互いの顔やテーブルに並んだ料理がきれいに照らされ、食卓が暖かい雰囲気となるからです。コード長 60cm の灯具を使用し、テーブルから 60～70cm ほどの高さに設置するのが一般的。素材によって光の落ち方が違うので、好みによって素材を選ぶと良いでしょう。



TOILET

「狭さ」を生かして選ぶトイレの照明。

狭い空間になることが多いトイレでは、照明も空間全体の雰囲気を作り上げる大きな要素です。天井直付け照明や、15cm～30cmの灯具、壁付けのブラケット灯具を使ってもOKです。手洗器やミラーの上にブラケット照明を設置して、手元の明るさや顔写りを良くするのもおすすめです。



LIVING

シーンによって使い分けるリビングのあかり。

リビングは、1つの照明で部屋全体を照らすより、ダウンライトを含めた複数の明かりを組み合わせ、空間を立体的に見せるのがおすすめです。ペンダント灯具は、30cmタイプを使って、床から2～2.5mの少し高めところに設置すると圧迫感を抑えられます。天井が吹き抜けの場合は 100cm、150cm の灯具を使って調整します。

